

第2期富里市まち・ひと・しごと創生総合戦略の一部改訂について

～「デジタル田園都市国家構想総合戦略」策定に伴う対応～

令和6年8月

～心ひとつに
未来に向かって
飛び立つために～

企画財政部経営戦略課



総合戦略の一部改訂方針(案)

1 経緯等

国では、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す「デジタル田園都市国家構想」(以下「構想」という。)の実現に向け、デジタル技術の活用によって、地域の個性を生かしながら地方の社会課題解決や魅力向上の取組を加速化・深化することとしている。

構想の実現を図るため、国においては、令和5年度を初年度とする5か年の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」(以下「デジ田総合戦略」という。)を策定し、令和4年12月23日に閣議決定された。

地方においては、国のデジ田総合戦略を勘案し、地方版総合戦略を策定・改訂するよう努めなければならないこととされている。

2 対応方針

国のデジ田総合戦略の策定に伴い、本市で策定している「第2期富里市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下「総合戦略」という。)についても、令和6年度中に一部改訂を行うこととする。

改訂に当たっては、国のデジ田総合戦略の趣旨に鑑みつつ、本市総合計画との整合を図るとともに、後期基本計画と総合戦略の関係性や計画期間を見据えた対応とするため、現行計画の目標などは継承し、DX等の視点を反映させるなど、部分的な改訂で対応することとする。



3 改訂内容

(1) 計画期間

総合戦略は、総合計画との整合を図るとともに、次期計画となる後期基本計画と第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略の関係性や体系を見据え、また、現行計画の改訂として対応することから、現行の計画期間である「令和4年度～令和8年度」とする。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
基本構想	基本構想									
基本計画	前期基本計画					後期基本計画				
重点プラン	第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略					第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略				

(2) 計画の名称

国においては、計画の名称は地域の実情に応じた名称を設定することが適切とされており、今回は第2期の改訂で対応することから変更は行わず、第3期総合戦略策定時において、名称変更の検討を行うこととする。



(3) 目標と基本的方向

国のデジ田総合戦略では、デジタルの力を活用し、社会課題解決や魅力向上を図るため「①地方に仕事をつくる、②人の流れをつくる、③結婚・出産・子育ての希望をかなえる、④魅力的な地域をつくる」の4つの取組を特に進めていくこととしており、これら4つの取組は、本市現行計画の4つの基本目標と対応していることから、基本的に現行の基本目標を継承することとする。

基本目標 1

誰もが活躍でき、生涯現役がかなうまち ⇒ 「地方に仕事をつくる」に対応

基本目標 2

地域の魅力を磨き、人が行き交うにぎやかなまち ⇒ 「人の流れをつくる」に対応

基本目標 3

子育て世代や子どもたちが快適に過ごせるまち
⇒ 「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」に対応

基本目標 4

新たな取組に挑戦し、未来につながる持続可能なまち ⇒ 「魅力的な地域をつくる」に対応



(4) 主な改訂内容

現行計画の基本目標4「新たな取組に挑戦し、未来につながる持続可能なまち」に掲げる具体的な施策「1 新たな社会(Society5.0)に対応する情報基盤の整備」において位置付けたDX関連施策について、国や県の取組事項を勘案しながら、第2期総合戦略策定後の動きを反映し、以下に挙げる項目等について、見直し・追加を行う。

○「数値目標」の見直し

○「方針」、「施策の展開」、「主な取組」の見直し

○KPI(重要業績評価指標)の見直し・追加

○新たに創設された「デジタル田園都市国家構想交付金」を活用した取組の追加 など

(5) 改訂スケジュール(案)

令和6年 8月19日 富里市まち・ひと・しごと創生本部会議 改訂方針について

令和6年 8月30日 富里市まち・ひと・しごと創生有識者懇談会 改訂方針について

令和6年 9月 市議会へ改訂方針の説明

令和6年11月頃 創生本部会議・有識者懇談会 改訂(案)の説明

令和6年12月 市議会へ改訂(案)の説明

令和7年 1月頃 パブリックコメント実施

令和7年 2月頃 創生本部会議 改訂版の策定